

## 今月の予定

- 第2, 4(土)【土曜学校】  
午前9時～10時
- 7日(火)【寺子屋シュシュ】  
午前10時～12時
- 17日(金)【法座前清掃奉仕】  
午後2時～3時
- 18日(土)【初参式】  
午後2時～
- 19日(日)【降誕会法座】  
午後1時半～3時半  
講師 久留島 法暁 師
- 21日(火)【仏教讃歌サロン】  
午後2時～3時半



宇部の岡原先生



永代経法座 二日間多くの方がお参りされました



## お寺フォト



土曜学校遠足 サークスを観に行きました



花まつり

## 清掃奉仕

法座前

5/17(金)

14時～15時



皆さんできれいにして  
ご法座をお迎えしましょう



愛犬リタ 10才誕生日



北側法面の防草処理が始まりました

## 鏡よ鏡よ 救われるのはだあれ

## 月のことば



鏡を知らない者同士が繰り広げる落語がある。

父親の墓参りを欠かさない孝行息子に殿さまが褒美をやるうという。しかし金も田畑も望まぬ息子は「死んだお父つつあんに会いてえ」。殿さまが「決して人に見せるな」と与えたのは鏡だった。「あれまあ、お父つつあん、随分若返った」。自分の顔を父と信じ、つづらに隠してひそかに面会を楽しむ。怪しんだ妻がつづらを覗くと「やっぱり隠し女が」―お定まりの夫婦げんかになり仲裁に入った尼さんが鏡を見てオチがつく。「二人が喧嘩するんで中の女、きまり悪いと頭を丸めて尼になった」。

鏡の中に人格があり心通わせる内容にほっこりする。そもそも鏡は外見を映すものではあるが、もしも本当の自分の心が鏡に映ると誰もが「決して人に見せるな」となるだろう。人に知られてはまずい内面をもつのが他ならぬ私である。鏡に映る外見は明るいが、自分を見つめる智慧は暗い。

「きょうきょう経教はこれたとをかがみ諭うるに鏡のごとし」(善導)

この度の永代経法座で講師が示してくださった。お釈迦様が説かれた經典は自分の心を映し出す鏡である。經典の中にいる私が当事者であり、そのままでは違いなく救われると説かれる。お経は読んでもすぐには分からない。ご法座に参り、聞法していく中で智慧が開かれていく。

裏面に降誕会法座のご案内があります

